

公共施設の 未来を考える 意見交換会



令和元年度
川越市総合政策部
社会資本マネジメント課

○目次

1. 今日、お伝えしたいこと
2. 社会資本の設置状況
3. 人口の推移と財政状況
4. 本市の取組
5. まとめ



○『社会資本』ってなんですか？



社会資本



公共施設

学校教育施設

小中学校など

生涯学習施設

公民館など

文化・スポーツ・観光施設

ホール施設など

福祉施設

市立保育園など

公営住宅

市営住宅など

都市基盤施設

市営自転車駐車場など

行政関連施設

市民センター、庁舎など

その他の公共施設

文化財など

インフラ施設

道路

橋りょう

上水道

下水道

河川

○（突然ですが…）今日、お伝えしたいこと

■ 公共施設などの社会資本が、一斉に**老朽化**をします。



- 少子高齢化・人口減少していくなかで
- 財政状況が厳しいなかで



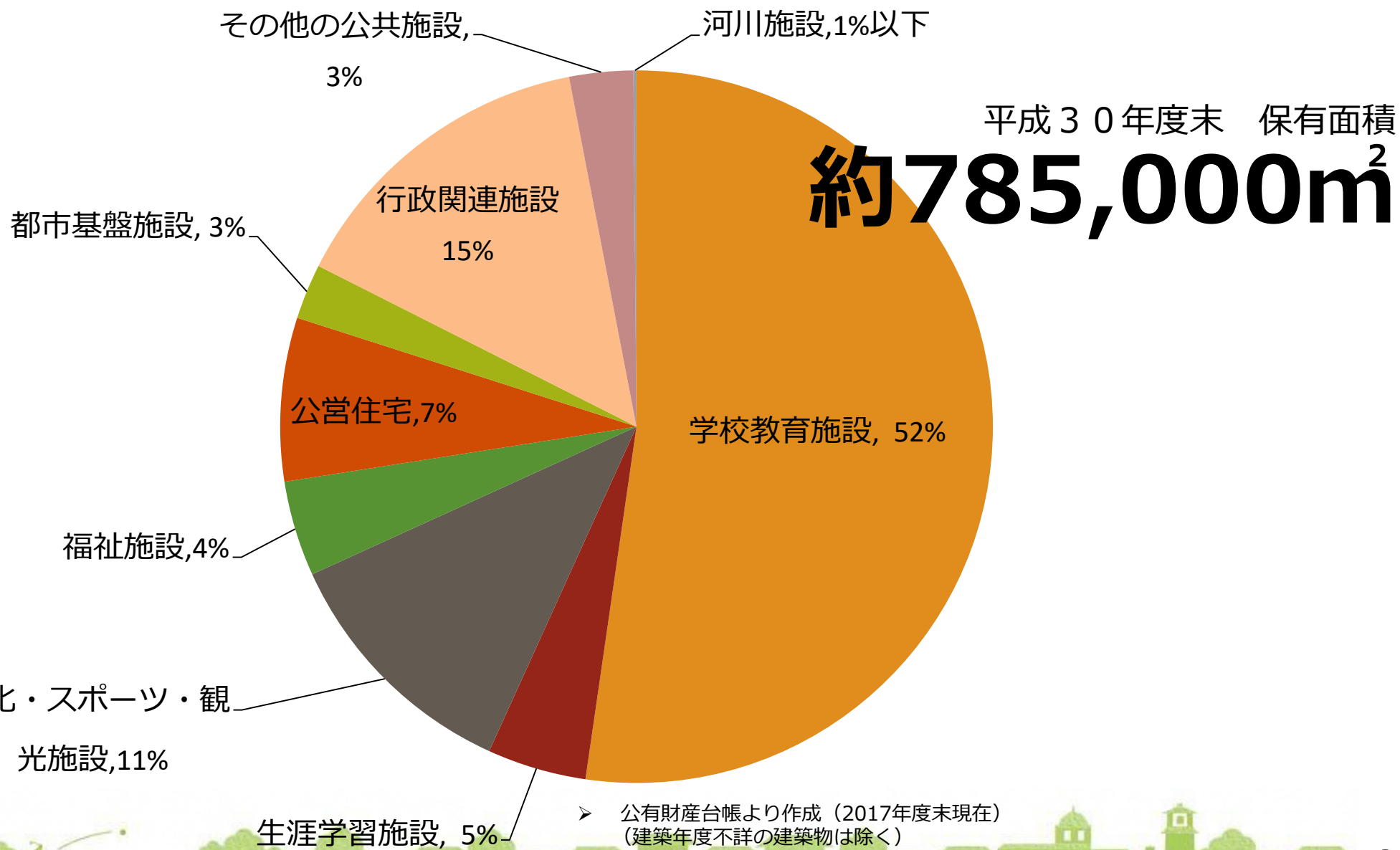
- 市民サービスを今後も提供していくためには
- 安全に公共施設を使用し続けるためには



なにをすべきか？

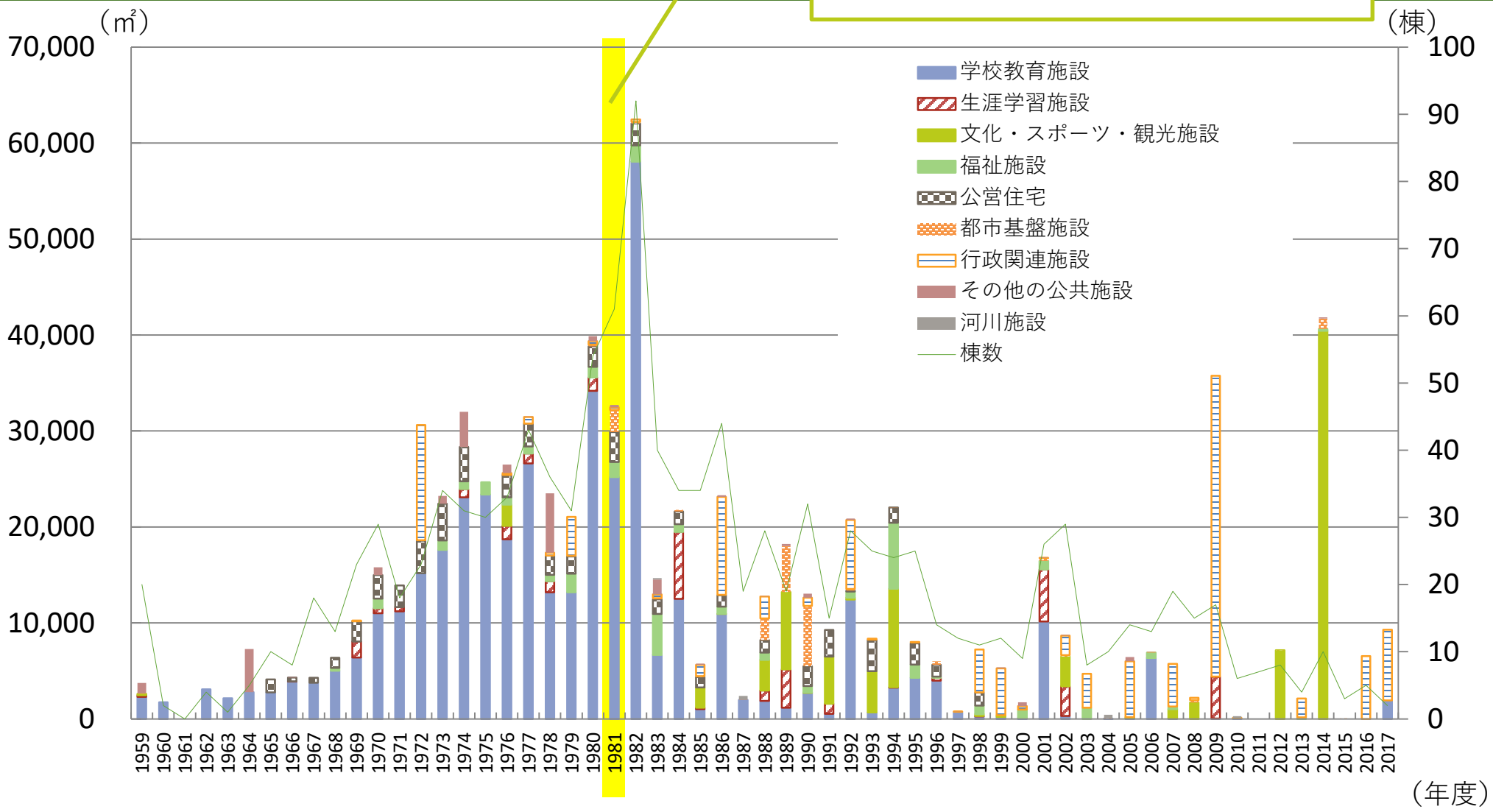


○公共施設の延床面積の割合



○公共施設の建築年度

1981年（昭和56年）
耐震構造に係る建築基準法の改正



➤ 公有財産台帳より作成（2017年度末現在）。（建築年度不詳の建築物は除く）
➤ 2017年度末現在に所有している建築物の建築年度別の延床面積の合計。（当該年度に建築したすべての建築物の延床面積の合計とは限らない）
➤ 1959年度の数字は、1959年度以前に建築されたものも含む。

○道路・橋りょうの設置年度

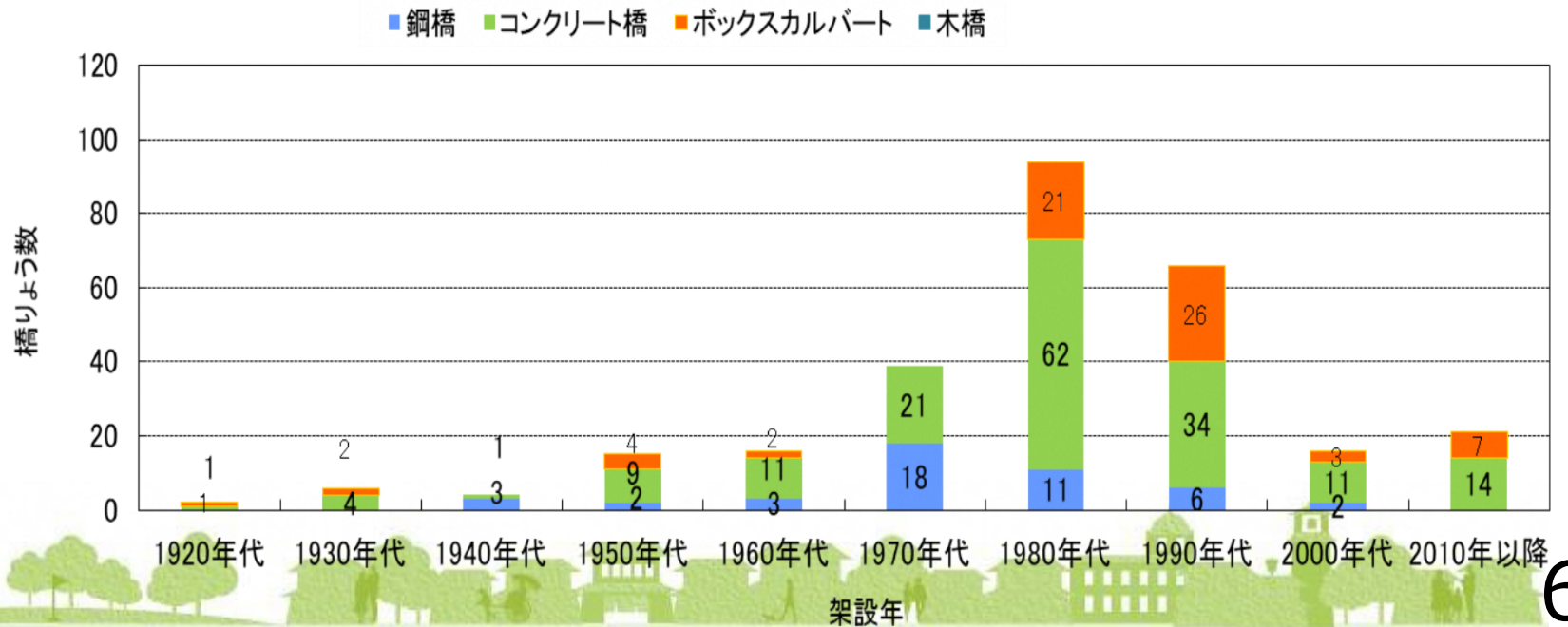
○舗装の整備状況及び経過年数（推測値を含む）

道路

	実延長	道路部面積	構成比
①10年未満	104.2km	552,534㎡	8.8%
②10年以上20年未満	564.5km	2,993,333㎡	47.4%
③20年以上30年未満	199.6km	1,058,404㎡	16.8%
④30年以上	320.7km	1,700,553㎡	27.0%
合計	1,189.0km	6,304,824㎡	

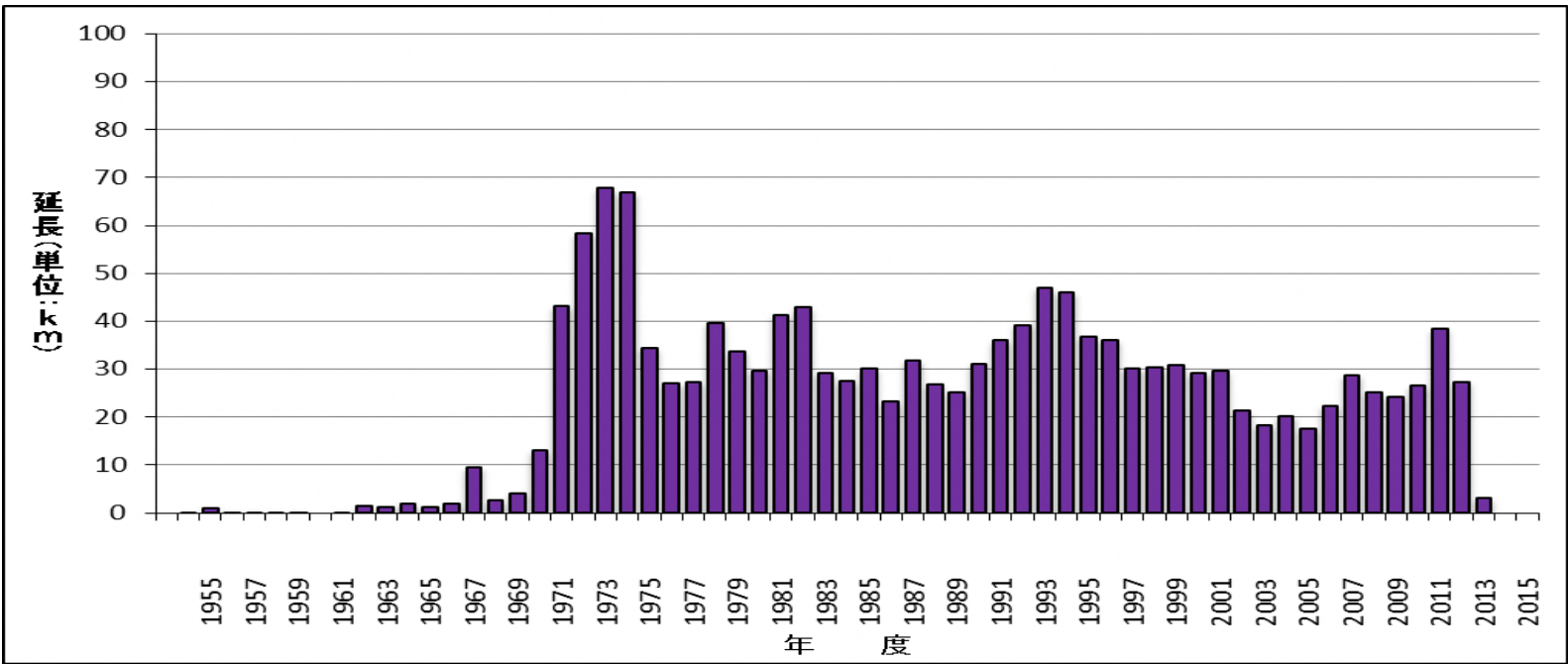
*供用開始時期が不明な路線は30年超とし、道路部面積は実延長比率から推計

橋りょう

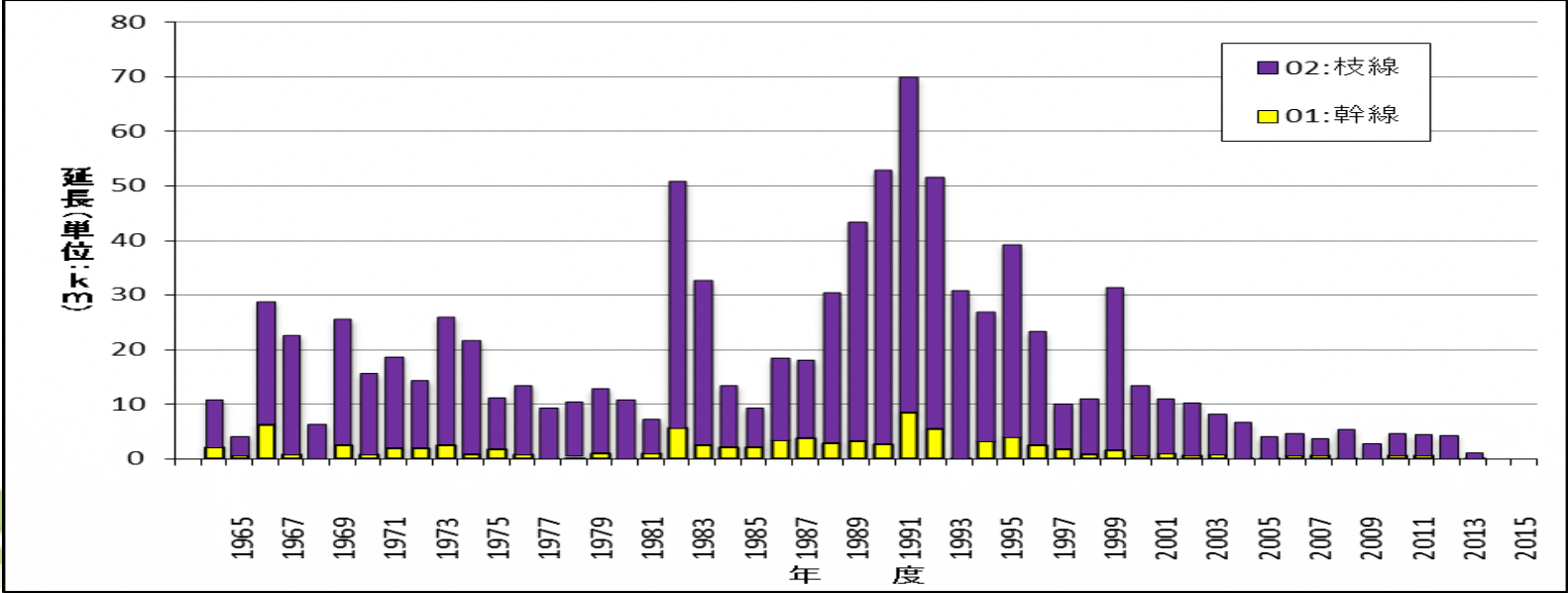


○上水道と下水道の設置年度

上水道



下水道



○社会資本の老朽化問題

1970年代～1980年代に設置した社会資本の多くが、
設置後**30年～40年**を経過しています。

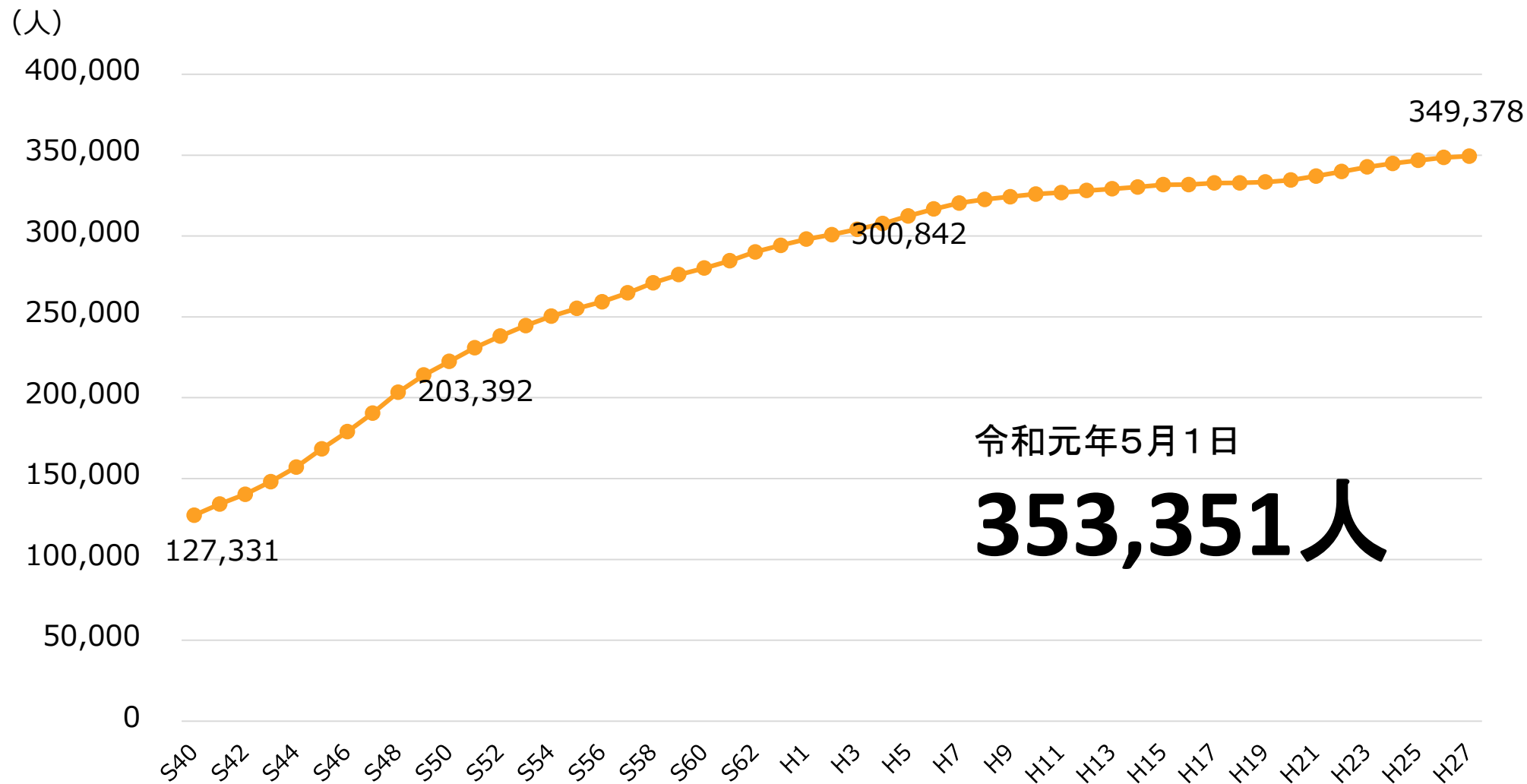
しかも、**公共施設**だけではなく、
橋りょうや上下水道などの**インフラ施設**も、

同じ時期に一斉に

改修や建替えの時期を迎えます。



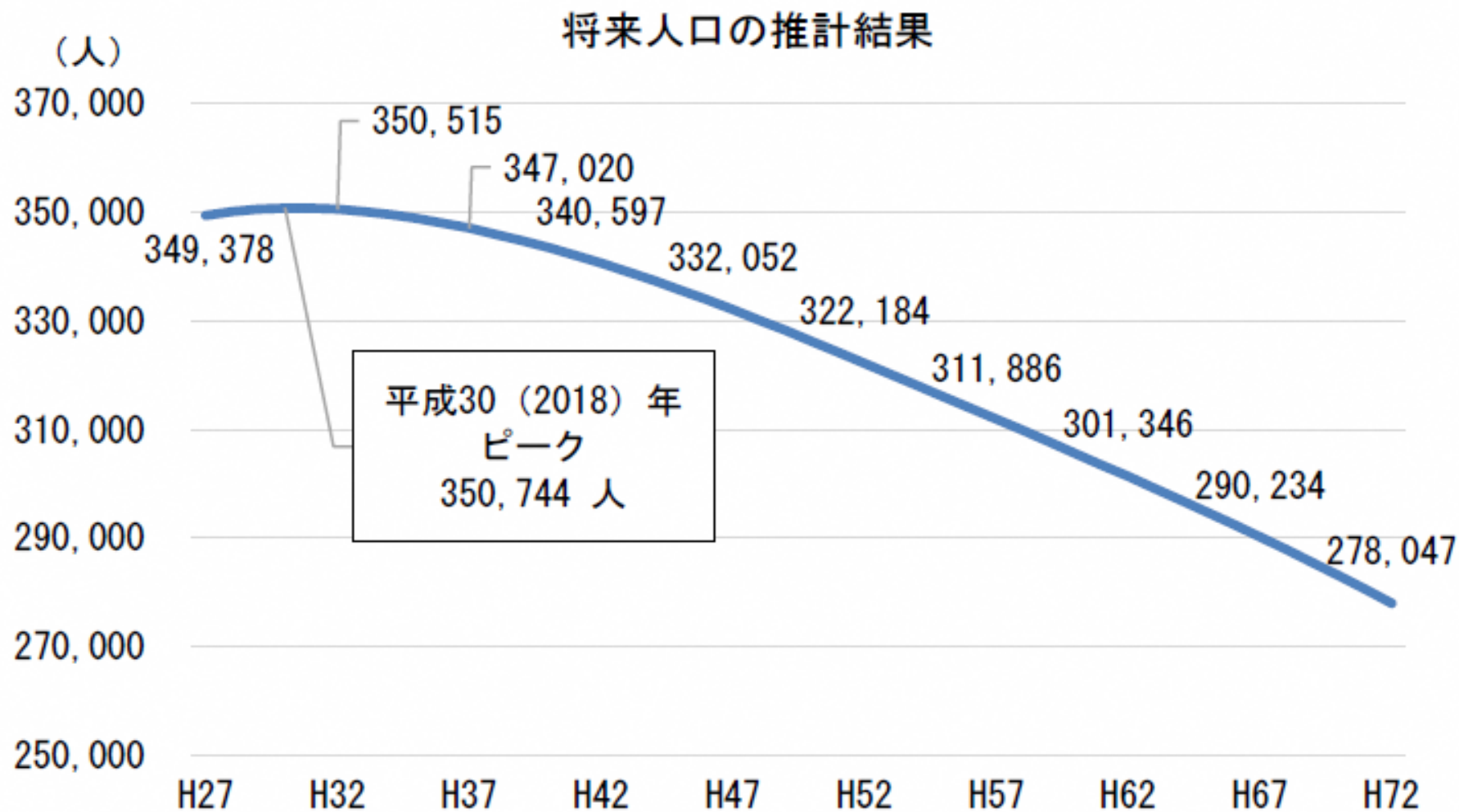
○川越市の人口について



出典：川越市人口ビジョン



○将来人口について



出典：川越市人口ビジョン



○将来人口（年齢3区分）について



出典：川越市人口ビジョン

平成27年度の人口と
45年後の人口推計値を比較すると、
市全体では約21%減少

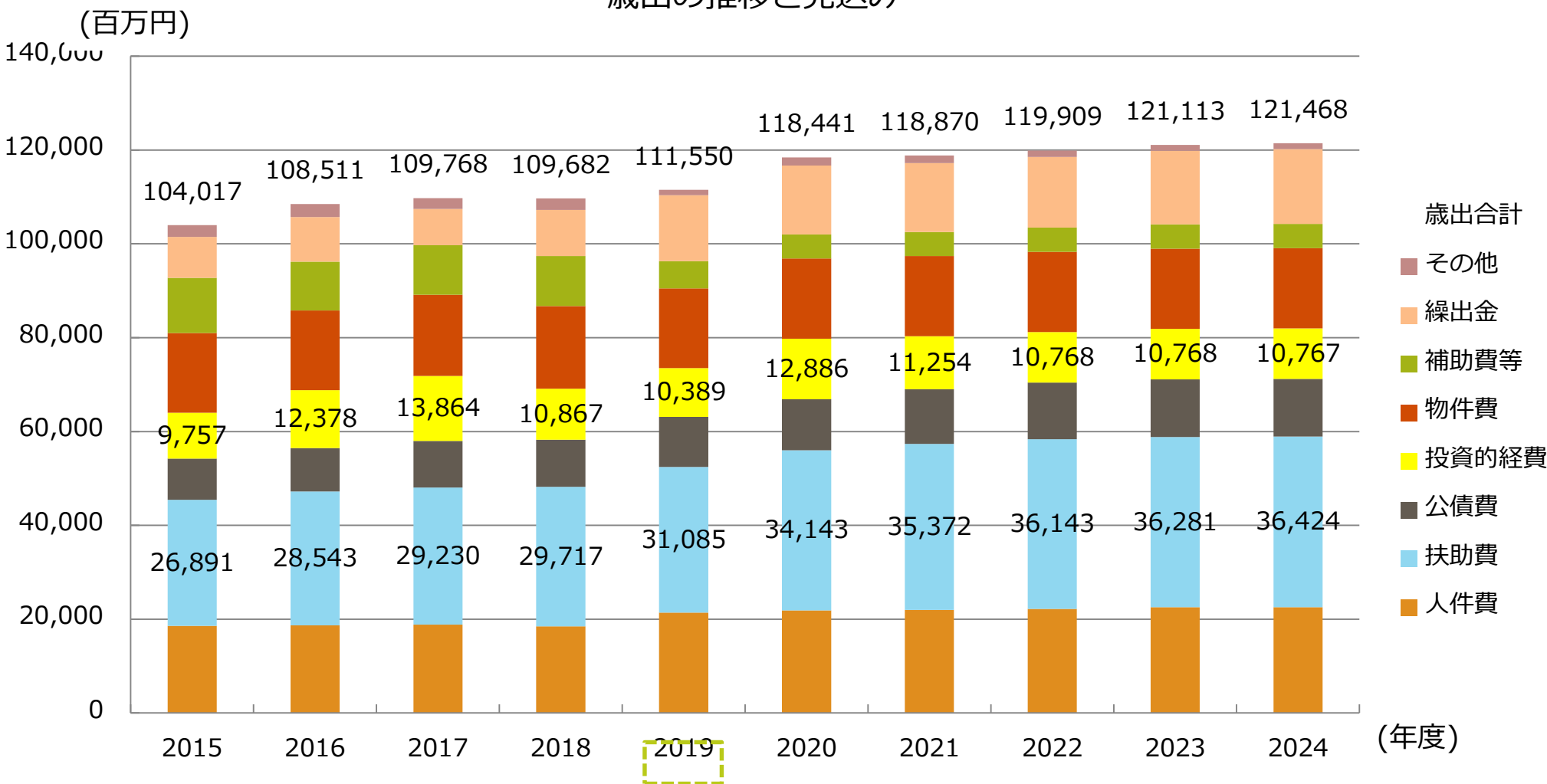


(内訳)
65歳以上 **25%増加**
15～64歳 **34%減少**
0～14歳 **41%減少**



○社会資本にかかる予算の減少

歳出の推移と見込み

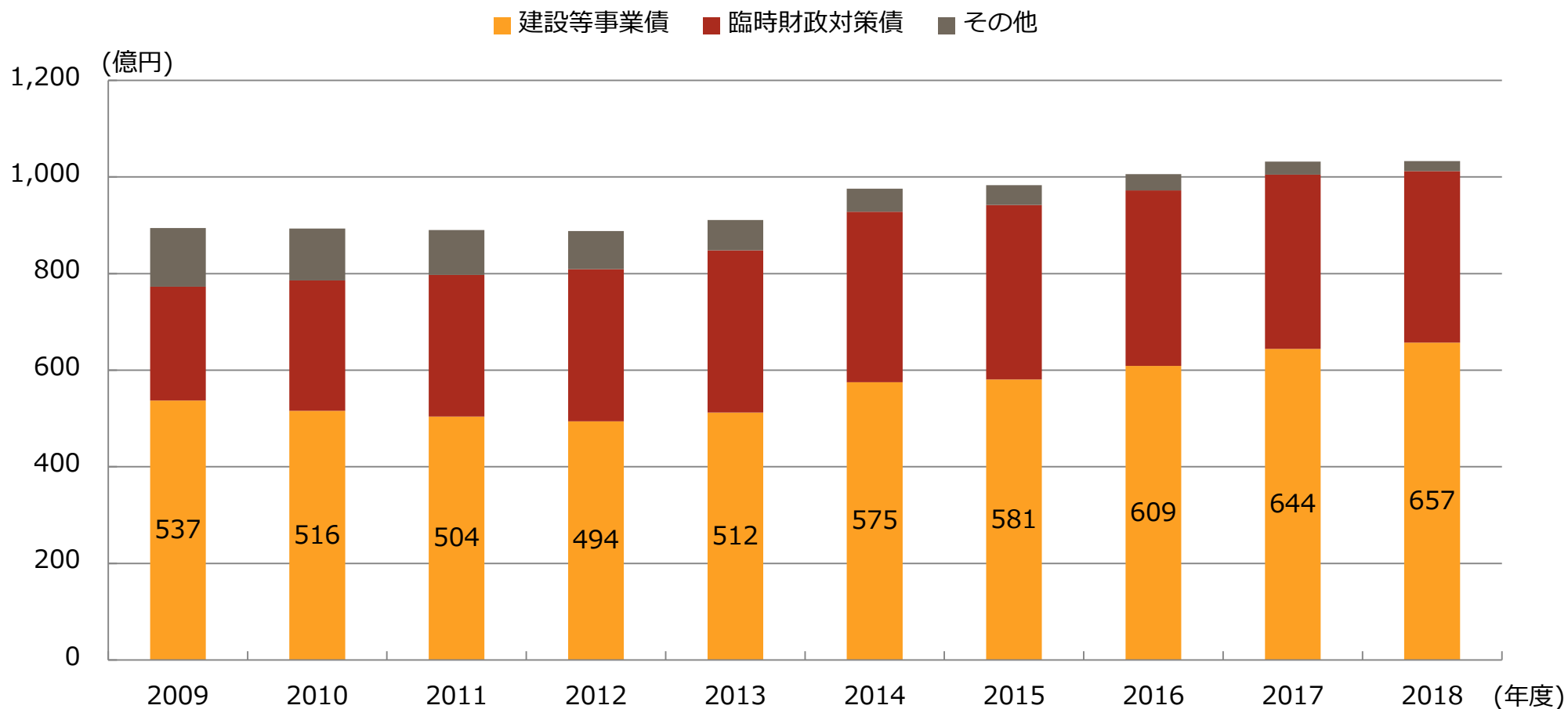


※令和元年度川越市中期財政計画より作成。



○増える借金

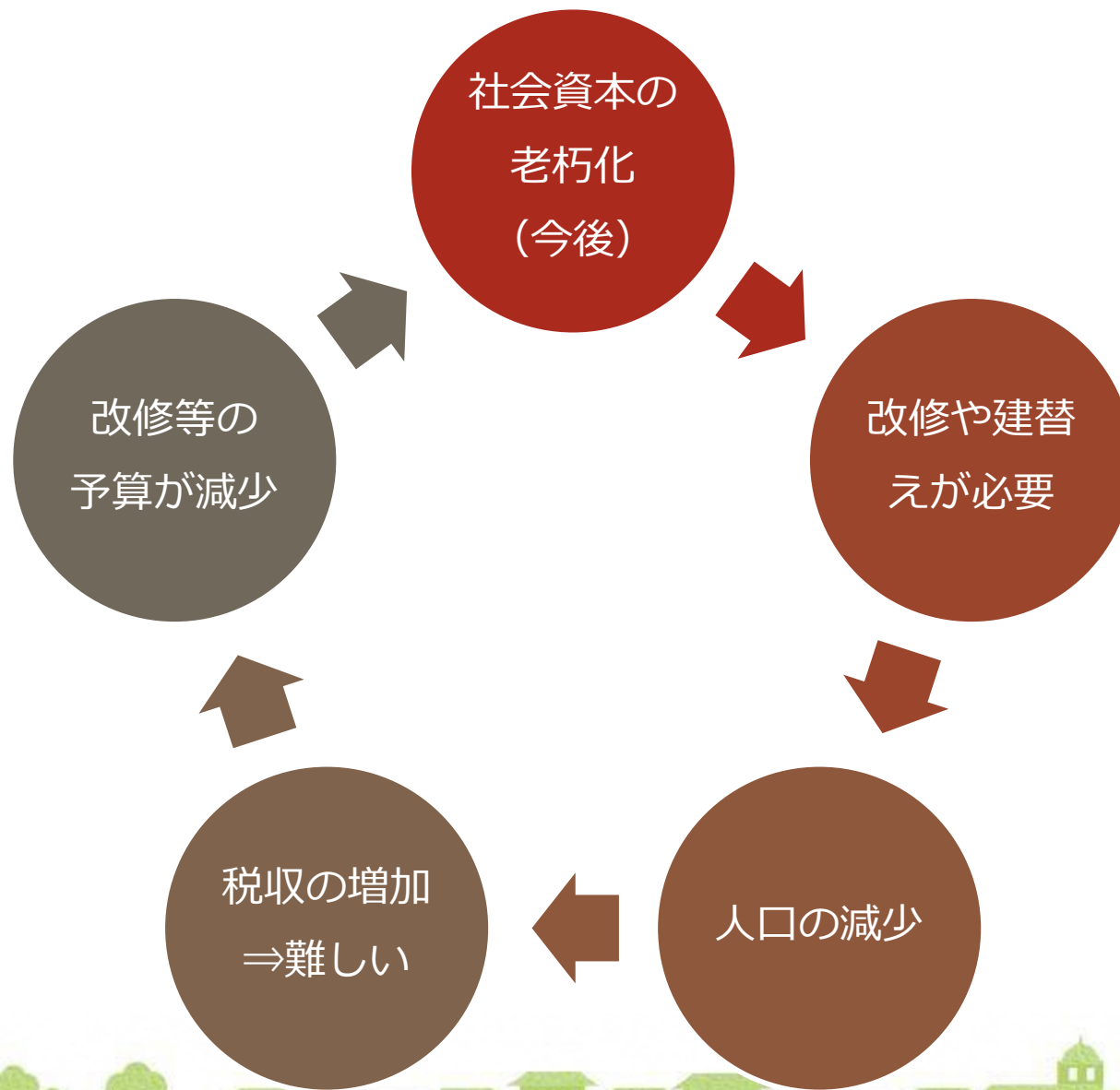
市債年度末現在高の推移（一般会計）



※令和元年度川越市中期財政計画より作成。



○悪い循環（スパイラル）



○社会資本の老朽化が進むと・・・

トンネル天井板落下



道路陥没



吊り橋ワイヤー破断



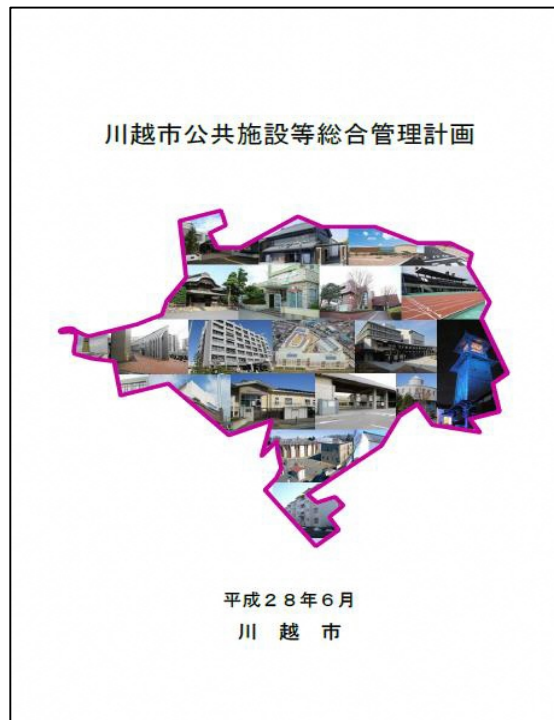
- このような事故が起こらないようにするために
- これからも市民サービスを維持するために

➡ 対策の検討や取組を進めています。



川越市公共施設等総合管理計画 (平成28年6月策定)

公共施設やインフラ施設を総合的かつ計画的に
管理していくための基本的な方向性を示したもの



○マネジメントに関する基本方針

□ 施設総量の適正化

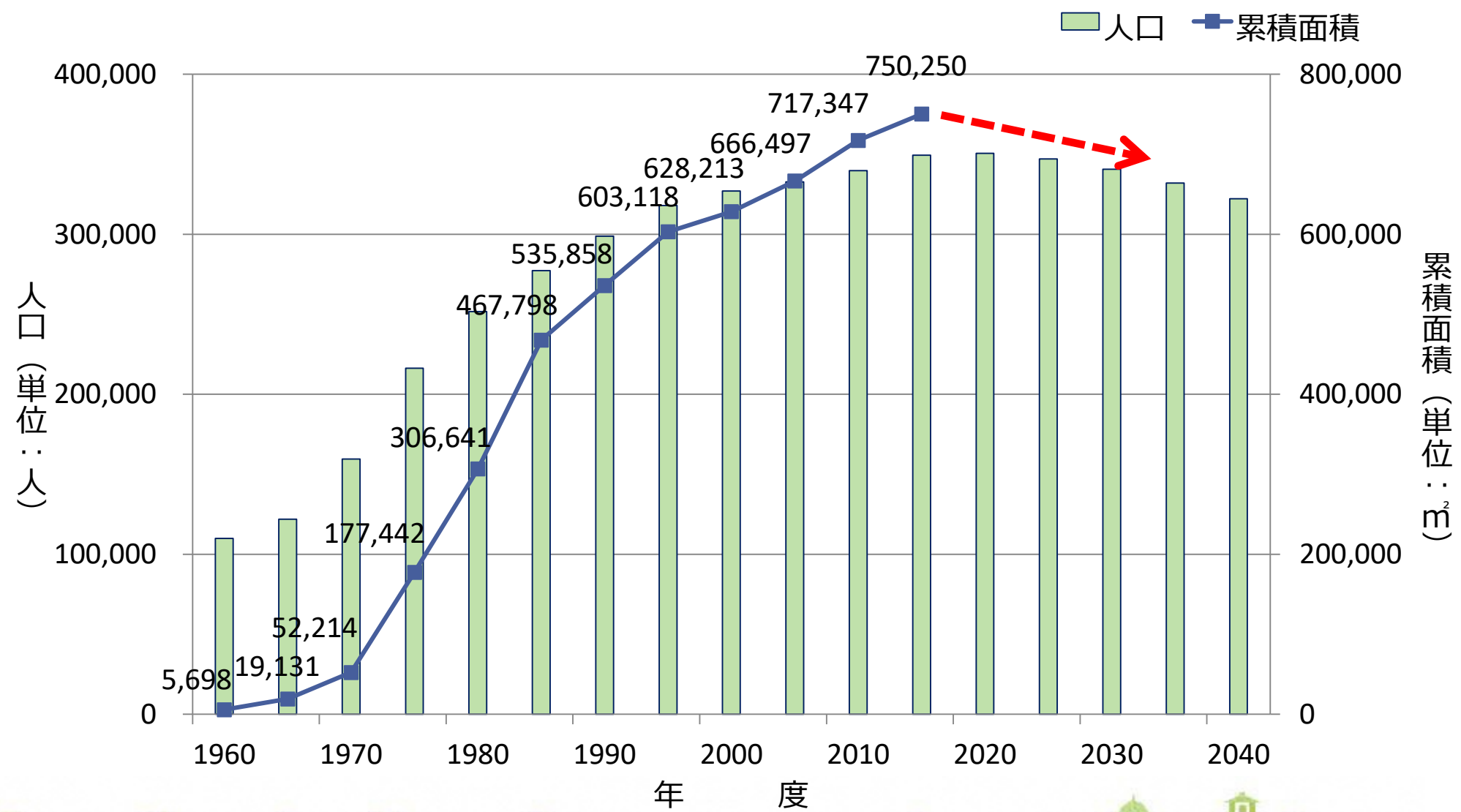
- 適切な維持・管理による安全の確保
- 整備更新費用の確保と受益者負担の適正化
- 公民連携（P P P）の推進
- 計画的な推進を図るためのしくみづくり



□施設総量の適正化



○施設総量の適正化



出典：川越市公共施設等総合管理計画

○施設総量の適正化

□ 施設総量の適正化

① 人口減少社会を見据えた施設総量の実現

人口減少社会を踏まえ、将来のニーズなどを考慮した結果、必要と判断した施設の整備更新は、現在の施設総量の範囲内で管理計画の趣旨に沿った手法を用いたうえで行い、**施設総量の適正化**を図ります。

また、インフラ施設は、管理計画の趣旨を踏まえ、事業を進めます。

② 複合化・多機能化などの整備更新方策の推進

必要な施設の整備更新に当たっては、単独で建て替えるのではなく、施設の複合化・多機能化を基本とし、適正規模での施設の更新を進めます。

また、共用化、広域化や施設によらないサービス提供（ソフト化）について検討します。



○身近なものに置き換えます。（総量の適正化）



祖父



軽トラック



祖母

免許なし



私



セダン



妻



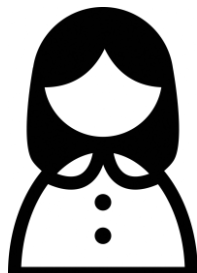
軽自動車



長男



セダン



長女

免許を取得
したばかり

（現状）

- ・ 私は、両親と妻、子供2人の6人家族。
- ・ 6人で、4台の車を所有。
- ・ 長男は、春から就職して一人暮らし。長男の車は、駐車場を借りている。
- ・ 長女は、最近、免許を取得。

（維持費の概算）

- ・ ガソリン代 $5,000\text{円/月} \times 4\text{台} = 20,000\text{円/月}$
 $20,000\text{円} \times 12\text{ヵ月} = \mathbf{240,000\text{円/年}}$
 - ・ 保険代 $20,000\text{円} \times 4\text{台} = \mathbf{80,000\text{円/年}}$
 - ・ 車検代 $100,000\text{円} \times 2\text{台該当} = \mathbf{200,000\text{円/年}}$
 - ・ 駐車場代 $6,000\text{円/月} \times 12\text{ヵ月} = \mathbf{72,000\text{円/年}}$
(1台分)
 - ・ 自動車税 $140,000\text{円} (4\text{台分}) = \mathbf{140,000\text{円/年}}$
- *4台分の1年間の維持費 732,000円/年**



この負担を続けられますか？



○身近なものに置き換えます。（総量の適正化）

自動車を持つこと

- 自動車購入費用
- ガソリン代
- 車検代
- 保険代
- 駐車場代
- 消耗品（タイヤ）の交換など

* 車を購入すると、維持管理費用が継続的に必要となる。
⇒車：10年程度

置き換えて
みると...

公共施設をつくること

- 建設費用
- 光熱水費
- 法定点検・機能点検
- 火災保険・災害保険
- 借地の賃料、土地購入費
- 改修工事や修繕

*** 公共施設も同じです。**
⇒公共施設：65年程度

○施設総量の適正化

■公共施設も同じです。

川越市が持つ主な公共施設

学校教育施設	小学校32校、中学校22校、市立川越高校、特別支援学校
生涯学習施設	公民館20館、図書館4館、学習施設、美術館、博物館
文化・スポーツ・観光施設	ホール施設7館、スポーツ施設4施設、観光施設、集会施設
福祉施設	保育園20園、学童保育室32室、児童福祉施設3施設、障害者等福祉施設、高齢者福祉施設
市営住宅	19団地
都市基盤施設	自転車駐車場など9施設
行政関連施設	市民センターなど14施設、本庁舎、東庁舎、小仙波庁舎（建設部）、上下水道局庁舎、総合保健センター、保健所、教育センター、環境衛生関連施設4施設、給食施設3施設、葬祭施設2施設

これらの施設で提供する、
市民サービスは、
とても重要です。



でも…
この施設を維持するための
負担を続けられますか？



□施設の複合化、共用化



○. マネジメントに関する基本方針

□ 施設総量の適正化

① 人口減少社会を見据えた施設総量の実現

人口減少社会を踏まえ、将来のニーズなどを考慮した結果、必要と判断した施設の整備更新は、現在の施設総量の範囲内で管理計画の趣旨に沿った手法を用いたうえで行い、施設総量の適正化を図ります。

また、インフラ施設は、管理計画の趣旨を踏まえ、事業を進めます。

② 複合化・多機能化などの整備更新方策の推進

必要な施設の整備更新に当たっては、単独で建て替えるのではなく、施設の**複合化**・多機能化を基本とし、適正規模での施設の更新を進めます。

また、**共用化**、広域化や施設によらないサービス提供（ソフト化）について検討します。



○身近なものに置き換えてみます。（複合化）



祖父



軽トラック

（現状）

- ・ 運転するのが億劫になってきた。
- ・ 遠出をするときは、電車やバスで行くことが多くなった。
- ・ ただ、荷物を運ぶ車は必要だ。



私



セダン

（現状）

- ・ 子供が大きくなったので、広い車が欲しい。
- ・ これからは、両親も含め6人で出かけることもあるだろう。
- ・ 乗降が楽なスライドドアにしたい。

・ 複合化

既存の異なる種類の施設を統合し、これらの機能を有した複合施設として整備すること。



ミニバン

- ・ 荷物も載り、多勢で乗れる広い車が必要。



- ・ 乗降りが楽になり、燃費、安全性能も向上している。
- ・ 保有台数を1台にすることで、維持管理費も軽減。
- ・ ミニバンを購入し、軽トラック、セダンは売却。

○身近なものに置き換えてみます。(共用化)

・共用化

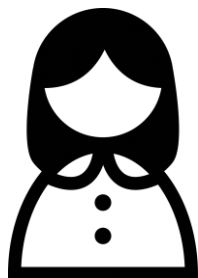
施設が持つ同様の機能を**共同して**利用すること。



妻

(現状)

- ・主に日用品の買い物に使用するため、
- ・平日の昼間に使用。
- ・週末は、主人が運転。



長女

(現状)

- ・先日、免許を取得。
- ・運転に慣れるために、小さい車を。
- ・週末に使いたい。



軽自動車

(車)

- ・車は、比較的新しい(4年目)。



- ・比較的新しく、同じ形の車種を2台保有する必要はない。
- ・利用時間帯が異なる。



- ・2人で共用する。

○川越市の取組事例（複合化）

■ 川越市では、既に**複合施設**を建設しています。

□ 各市民センター（出張所、公民館）

- ・ 高階市民センター（出張所、公民館、図書館）

□ 学校施設

- ・ 高階北小学校（小学校、老人憩いの家）
- ・ 霞ヶ関小学校（小学校、霞ヶ関市民センター〔出張所、公民館〕）
- ・ 霞ヶ関北小学校（小学校、公民館、図書館）
- ・ 川越第一小学校、川越小学校、中央小学校など（小学校、学童保育室）

□ ウェスタ川越〔埼玉県と共同〕

- ・ ホール、公民館、こども支援センター、市民活動・生涯学習施設、男女共同参画推進施設

□ クラッセ川越

- ・ 図書館、児童館、老人憩い家、国際交流センター、多目的ホール



○複合化・共用化をすると…

■ 公共施設を複合化・共用化すると…

□ 利用者サービスの向上

- 1つの施設で複数のサービスが受けられる。
- 利用者間の交流が活性化する。

□ 共有することで施設の有効活用

- 時間帯や曜日でサービスを変えることで、施設をより多くの方に利用していただける。

□ トイレや廊下・階段等のスペースを共用

□ 施設設備（電気設備や給水設備など）を共用

- 施設建設費や改修費を抑えることができる。

使いやすい
施設

利用率の
向上

建設費の
抑制

維持管理費
の抑制

保有面積の
減少も

○. マネジメントに関する基本方針

□施設の廃止



○身近なものに置き換えてみます。（廃止）



長男

（現状）

- ・この春に大学卒業。
- ・就職して、都内一人暮らしを始める。
- ・月に2回ぐらい、実家に帰ってくるかも。

→生活環境の変化



セダン

（車）

- ・3年前に免許をとり、中古車を購入。
- ・来年は、車検（9年目）。
- ・駐車場は、月6000円。



- ・維持管理費もかかる。
- ・利用頻度が少なくなる。
- ・年数もたっている。



- ・車を使いたいときは、家族の車を借りる。
- ・車を売却・廃車。



○マネジメントに関する基本方針

□将来のニーズを考慮



○マネジメントに関する基本方針

□ 施設総量の適正化

① 人口減少社会を見据えた施設総量の実現

人口減少社会を踏まえ、**将来のニーズなどを考慮**した結果、必要と判断した施設の整備更新は、現在の施設総量の範囲内で管理計画の趣旨に沿った手法を用いたうえで行い、施設総量の適正化を図ります。

また、インフラ施設は、管理計画の趣旨を踏まえ、事業を進めます。

② 複合化・多機能化などの整備更新方策の推進

必要な施設の整備更新に当たっては、単独で建て替えるのではなく、施設の複合化・多機能化を基本とし、適正規模での施設の更新を進めます。

また、共用化、広域化や施設によらないサービス提供（ソフト化）について検討します。



○身近なものに置き換えてみます。(ニーズの変化)

人気車種_20~30年前

セダン
(カローラ)
(ブルーバード)
(マークII)
など



SUV
(パジェロ)
(サーフ)
(サファリ)
など



スポーツ
(GT-R)
(シルビア)
(セリカ)
など



人気車種_近年

軽自動車
(Nワゴン)
(ワゴンR)
(ムーブ)
など



ミニバン
(フリード)
(セレナ)
(ヴォクシー)
など



エコカー
(プリウス)
(アクア)
(ノート)
など



ニーズ(求めるもの)の変化

広さを重視
(ファミリー層)



維持費を重視
(子育て・高齢者層)

特別仕様
4WDなど



用途を
限定しない

外見重視



燃費重視

*時代とともに、人気車種も変化している ●————→ *公共施設も同じです。

■ 公共施設などの社会資本が、一斉に**老朽化**をします。

- 少子高齢化・人口減少
- 厳しい財政状況

それでも

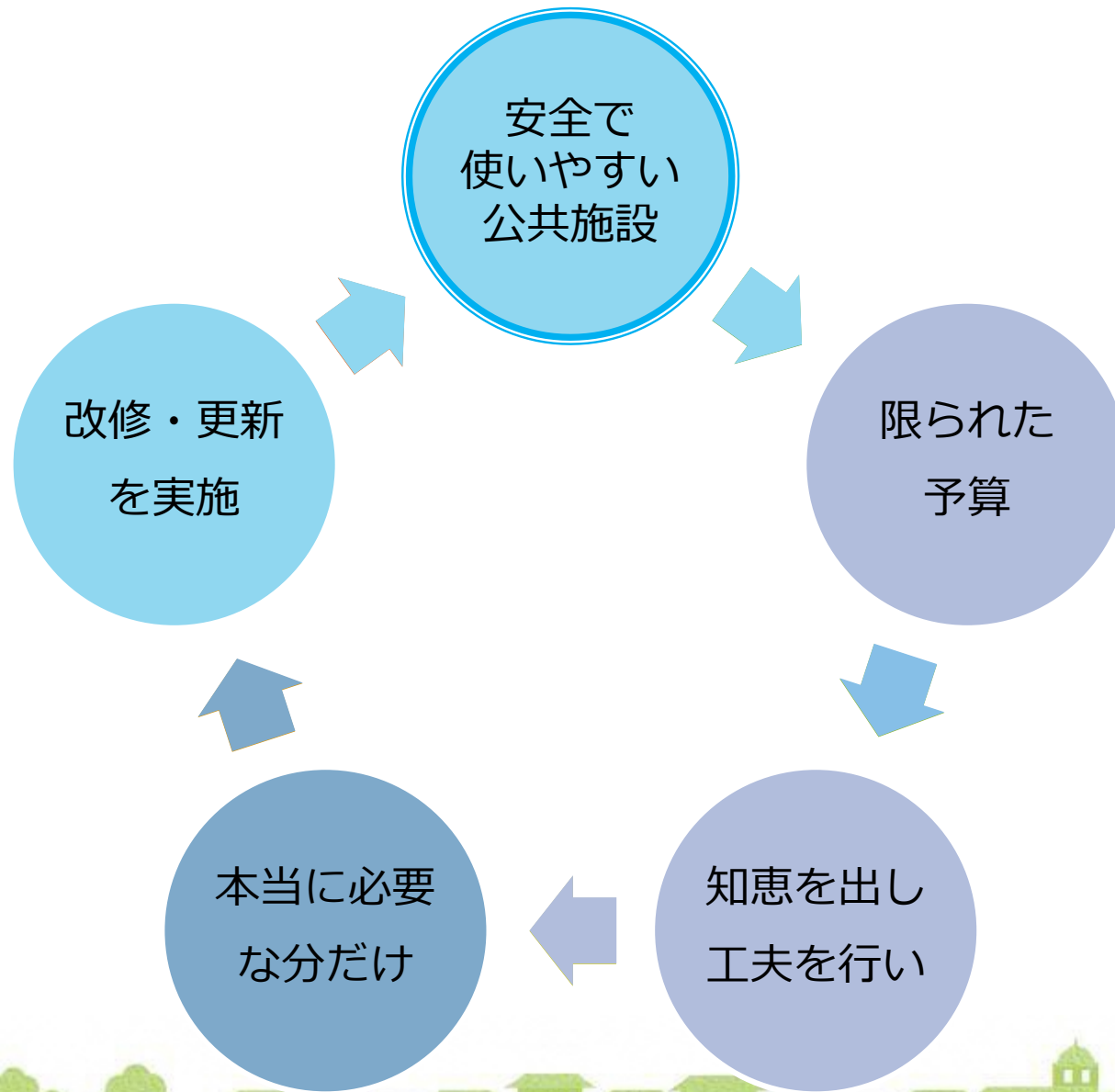
- 市民サービスを今後も提供
- 安全に公共施設を使用

- 本当に必要な施設を、本当に必要な分だけ（**施設総量の適正化**）
- できる限り施設をまとめるなど工夫をして（**複合化・共用化**）

安全で、使いやすい公共施設



○目指す循環（スパイラル）



○結びに

- 公共施設も、身近な例として挙げた車も、あれば便利だし、いつか使うと思うと、持っておきたい。
- しかし、自分のお金として考えていくと、自分の予算の範囲内で、できる限りムダな出費を控えて、使いやすい車を購入している。
- それは、公共施設も同じ。
市の予算も、税金として、市民の皆さんから集めた大切なお金。
- 限られた予算の中で、皆さんと一緒に、知恵を出し、工夫をしながら、本当に必要なものを整備していきたい。
- 是非、この機会に、「公共施設の老朽化問題」についても、**自分事として考えてみてください。**



ご清聴ありがとうございました。

【お問い合わせ】

川越市役所

総合政策部社会資本マネジメント課

電話：049-224-6377

FAX：049-225-2895

shama@city.kawagoe.saitama.jp

